



笑顔いっぱい 夢いっぱい

郡山市立安積第三小学校
学校だより No.3
令和7年 4月11日
文責:校長 酒井 健

◇ 1年生・・・初めての「身体測定」でした。

4月10日(木)には、1年生の子どもたちにとって初めての「身体測定」が実施されました。養護教諭の宮田先生のお話真剣に耳を傾ける子どもたち・・・身長と体重の測定を、静かに、そして素早く行うことができました。とても立派でした。これから、心も身体も、大きく豊かに成長してくださいね。



◇ 「いかのおすし」・・・不審者から身を守る！

4月に入って、暖かくなってきたこの時期には、毎年「不審者遭遇事案」が多く発生してしまいます。声かけ、抱きつかれる、名前を聞かれる、自宅までついてこられる等、市内の児童生徒が怖い思いをさせられてしまうことは許されないことです。今後、安積第三小学校では、発達段階に応じて、各学年・学級で指導をしていきます。いざという時、怖くて体が固まったり、声が出なかったりすることもあります。この「いざという時」のために備えが必要です。ご家庭でもお子様にご指導をお願いします。

いか・・・知らない人についていかない
の・・・他人の車にのらない
お・・・おおごえを出す
す・・・すぐになげる
し・・・何かあったらすぐに知らせる
(110番通報はすぐに)



校長のひとりごと

だいぶ前の話になりますが・・・私が、ファミレスに行った時、私のテーブルの前で一組の家族が座りました。席に座って注文を終えた途端、父親、母親はそれぞれスマホ、2人の子どもはそれぞれゲーム。会話はゼロでした。この状況は、料理が運ばれてくるまで、ずっと続いていました。私も気になって、気になって・・・。家でもこんな様子なのでしょいか。家族で、食事をしながら会話を楽しむ・・・これはとても大切なことだと思います。子どもたちは、学校のこと、友だちのこと、楽しかったこと、悲しかったこと等、家族のみんなにたくさん話したいことがあると思います。

次の作文は、シンガポールの小学生が書いた作文です。宿題として出された作文のテーマは「わたしの願い」でした。とても考えさせられます。

ぼくの願いは、スマートフォンになることです。なぜなら、ぼくのママとパパは、スマートフォンがとても大好きだから。ママとパパはスマートフォンばかり気にして、ときどき、ぼくのことを忘れてしまいます。ぼくのパパが仕事から疲れて帰ってきたとき、パパはぼくとではなく、スマートフォンと時間を過ごします。ママとパパが大事な仕事をしていて、スマートフォンが鳴り出したら、1回鳴っただけでもすぐに電話に出ます。ぼくが泣いているときでさえ・・・そんなふうにはしてくれないのに・・・。

ママとパパはぼくとではなく、スマートフォンでゲームをして遊びます。スマートフォンで誰かと話しているとき、ぼくが伝えたいことがあっても、ぼくの話聞いてくれません。だから、ぼくの願いは、スマートフォンになることです。

